

ひょうごの福祉

認め合い ともにつながり 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

6

No.772

P2 特集

「ストップ・ザ・無縁社会」絆つなげる明日へつながる²⁵
福祉職場における人材確保・育成

P6 「ストップ・ザ・無縁社会」広がれ! 全県キャンペーン

P7 みんなでつくるひょうごの福祉
工場見学から広がる共生のまちづくり
～キッコーマン食品株式会社高砂工場による
社会貢献活動の取り組み～

P8 あなたのまちの社協ナビ
神河町社協
“お互いさま”で支え合う
地域づくりを目指して

P9 広げよう! 地域の安心拠点
防災活動を通してみんなで進めるまちづくり
～宝塚市長尾地区の取り組み～

P10 ひょうごの福祉NOW

P11 みんなの広場

P12 インフォメーション

6月1日は
「善意の日」だよ!

三田市



「ストップ・ザ・無縁社会」 絆つなげる 明日へつながる²⁵ 福祉職場における人材確保・育成

少子高齢化などを背景として、今後ますます多くの福祉人材の確保・定着とともに、専門職自身の資質向上が必要となってくる。こうした中、各福祉職場では、職員を育成するための研修体系の整備や福祉従事者がやりがいを持って働き続けられるための人材育成の仕組みづくりに取り組んでいる。

今回の特集では、「福祉職場における人材育成」をテーマに、その目的や実践事例に基づく効果的な進め方を紹介する。



福祉人材確保・育成を めぐる課題

厚生労働省が平成27年2月にとりまとめた報告書によると、少子高齢化が進行する中、団塊世代が後期高齢者となる2025年には、現状のままだと約30万人の介護人材が不足すると推計されている。また、同じく厚生労働省が1月に策定した「保育士確保プラン」によると、保育の需要がピークとなる平成29年までに待機児童を解消するため、40万人の受け皿整備と保育士の確保が必要といわれている。さらに、障害分野でも利用者の権利擁護や自立支援に向けた専門性を備えた福祉人材の確保が課題となっている。

福祉人材の確保に向けては、「すそ野を拡げる」(多様な福祉人材の参入を図ること)、各社会福祉法人・事業所での「道を作る・長く歩み続ける」(働きやすい職場環境の整備)との両輪の取り組みが重要とされている(図表1参照)。

こうした福祉人材の質・量両面での確保に向け、各福祉職場で求めら

れているのが、計画的・継続的な職員育成のための研修体系の整備など、社会福祉従事者がやりがいを持って働き続けられるための職場研修の仕組みづくりだ。

■図表1 介護人材確保の具体的な方策

参入促進	1.すそ野を拡げる 人材のすそ野の拡大を進め、多様な人材の参入促進を図る
労働環境・処遇の改善	2.道を作る 本人の能力や役割分担に応じたキャリアパスを構築する
	3.長く歩み続ける 介護の仕事についての定着促進を図る
資質の向上	4.山を高くする 専門性の明確化・高度化で、継続的な質の向上を促す
	5.標高を定める 限られた人材を有効活用するため、機能分化を進める

出典:社会保障審議会 福祉人材確保専門委員会報告書「2025年に向けた介護人材の確保」(平成27年2月)

職場研修を進めるために

職場研修の3つの形態

では、職場研修とはどのようなものだろうか。一般的には職場内の勉強会や外部研修への派遣など、職務を離れての研修をイメージされるこ

■図表2 研修形態の比較表

研修・制度	形態・概要	特長	適した研修内容
OJT (職務を通じての研修)	職場の上司(先輩)が職務を通じて、または職務に関連させながら、部下(後輩)を指導・育成する研修	日常的な業務の中で、職員の個性や能力レベルに応じた実践的できめ細かな指導が可能	実践的なスキル、組織における価値観や態度等の習得
OFF-JT (職務を離れての研修)	①職場内の集合研修 職場の中で、業務とは別に設けて行われる集合研修	職場としての明確な目的やテーマのもと、効率的、集中的に学習することができる	業務の基礎となる知識の習得、知識・情報の伝達、勉強会、事例研修会等
	②派遣研修 外部で開催される研修に参加する形で行われる研修	専門的知識をもつ講師から学べる。他の施設の受講者とのコミュニケーションを通じて、視野が広がる	階層や職種ごとに求められる専門的知識・技術の習得、専門分野の最新の動向等
SDS (自己啓発援助制度)	職場内外での自主的な自己啓発活動を認知し、経済的・時間的な援助や施設の提供などを行うこと	個々の職員の志向や意欲に応じて機会を与えることができる。職員の意欲を高め、育成的な職場風土づくりに役立つ	資格の取得、学会活動への参加、対外的な発表活動等

とが多いが、それらを生かす上でも重要となるのがOJTといわれる職務を通じての研修である(図表2参照)。集合研修に参加した職員が良い気付きを得たとしても、OJTがなければ研修での学びが業務に

生かされないことになりかねない。職場研修の形態と特徴を理解した上でそれらを組み合わせる実施することが重要だ。

職場研修の効果的な進め方

県内の各法人・施設では、「人材育成の基本は職場から」の観点で、職場の実態や職員の力量に合わせ、さまざまな職場研修が実践されている。次に、職場研修を通じた効果的な人材育成のヒントとして、県内の各法人施設での職場研修の取り組み事例を紹介する。

事例1

職員みんなで考える方針づくり
〜豊岡市社会福祉協議会〜

豊岡市社協は、職員参加で研修体系づくりを含めた人材育成方針づくりに取り組むため、「職員研修プロジェクト会議」を中心に検討を進めた。

同会議は「めざす職員像」と職場研修の現状分析に基づく方向性、研修体系のたたき台を作成する役割を担い、新任職員から中堅職員、指

豊岡市社協の人材育成基本方針

- 〈めざす職員像〉
地域福祉を推進するプロフェッショナルとして、自ら考え、果敢に挑戦する職員
- 〈活動心訓〉
- 1.地域に向き常に気づきのアンテナを張り、ニーズをキャッチする
 - 2.社会資源を活用し、ネットワークの力で地域を支える
 - 3.課題解決に向けて積極的に働きかける
 - 4.常に向上心を持ち、福祉のプロとしての能力を高める
 - 5.自覚と誇りを持ち、職員同士が連携して業務を遂行する
 - 6.信頼され開かれた社協づくりをすすめる

導的職員まで部局横断で7人の職員により構成された。会議では全職員にアンケート調査を行い、職場における人材育成の現状やめざす職員像に関連する設問を設けた。これらの調査結果をメンバーで分析し人材育成の到達点や課題を把握するとともに、職員像についてはアンケートから見えるキーワードと法人理念・使命を踏まえ、職員が理解しやすい業務で立ち返ることができ、フレックスを考え、議論を重ねた。

延べ13回の会議を経て、最終的にはめざす職員像とそこに到達する

ための職員の姿勢を6つの「活動心訓」として取りまとめた。こうした話し合いを重ねて完成した「人材育成基本方針」には、法人としてキャリアパス^{*}を明確にすることや新任職員育成のためのOJT担当者制度を導入することなど、具体的な方策が盛り込まれた。

プロジェクト会議での議論には、かなりの時間を要した。しかし、全職員の声を大切に、メンバーがこれからの組織や人材育成について、議論することでボトムアップを図り、検討を重ねることがメンバー自身の研修に対する価値観を変えることにつながった。議論の過程そのものが組織の中核になる人材育成そのものであったといえる。平成27年度からは人材育成基本方針の具体化に向け、OJT担当者の選任やSDSの「資格取得経費助成要綱」の整備などに取り組み始めたところである。

*キャリアパスとは、仕事の経験、歴を通じて、自らのキャリアを構築していく道筋のこと。



事例2
OFF-JTの学びを支援に
生かす仕組みづくり(社会福祉
法人みつみ福祉会(丹波市))

20以上の施設を運営するみつみ福祉会では、大規模法人の強みである法人内の集合研修と外部への派遣研修の2つのOFF-JTを活用して人材育成を進めている。法人内の研修は、特に若手職員の育成と定着をめざして新規採用時、採用半年後、年度末、2年目、3年目に実施。研修では、法人理念の理解や対人援助職者としての知識と心構え、自身のキャリアパスを描くために必要なスキルを学ぶとともに、業務の目標設定や振り返りを丁寧に行っている。これに加え、外部研修を利用し、より専門的な知識・技術を学ぶための課題別・テーマ別の研修へも職員を積極的に派遣している。



法人内の新規採用者向け研修会で自主研究チームの取り組みを発表

を法人全体で管理し、必要に応じて法人本部から各施設へ研修の案内をするなどの工夫をすることにより、職員の課題や業務目標に合わせた研修の受講を可能にしている。研修での学びを実際の支援に生かす仕組みとしては、研修受講後に報告書の提出を義務付けて施設内で回覧したり、施設内での勉強会で発表してもらっている。ある施設では、外部研修を受けた職員からの提案で「自主研究チーム」が結成され、施設全体でケアの質向上に向けた取り組みがなされている。このように、研修で得た気づきを共有する仕組みや場を意図的に

つくることで、職員自らの問題意識を高め、支援の質向上のために進んで行動できる人づくりと職場風土の醸成につながっている。

事例3
職場ぐるみで取り組み
新任職員育成(特別養護老人ホーム「楽々むら」(豊岡市))

楽々むらでは、新任職員の育成に力を入れている。その手法は大きく2点ある。1点目は、新任職員の育成目標を明確にした上で、身に付けるべき到達目標をチェックシート化する。2点目は、新任職員の身近な相談役となるOJT担当

者制度^{*}を導入することである。チェックシートは、新任職員が入職1カ月で身につけるべき事項を、「基礎力の向上到達目標」として「見える化」している。具体的な行動・能力に落とし込み、項目ごとに「分かる」「できる」という表現で到達度が分かるようになっている。また、知識・技術だけでなく、チームワークや「ホウ・レン・ソウ」など組織

人として必要な姿勢や行動についても具体的に明示している。

これに基づき、新任職員とOJT担当者が振り返りを行い、達成状況を確認している。振り返りは「できる・できない」のチェックよりも、職員の不安な点を確認する「コミュニケーションの場」にしているのがポイントである。新任職員の育ち方や教え方には個人差もあるため、原則は全項目ができるまでOJT担当者が関わっている。

新任職員の身近な相談役として、OJT担当者は、3、4年目の職員が担う。新任職員に日常的に指導したり、相談に乗ることで新任職員が職場になじみ、安心して職務にあたることのできる一方で、担当者の力量や職場としてのフォ

「楽々むら」における
新任職員の育成目標

- ① 社会人・組織人・職業人の自覚を身につける
- ② 職場の理念を理解して日々の実践ができる
- ③ 担当業務に必要な基本的な知識・技術を習得し、実践できる
- ④ 自己啓発意欲を養い、将来に向け自己目標が考えられる

OJT体制も問われることになる。楽々むらでは、この制度を中堅職員の意図的・計画的な成長の機会として位置付けて「新任職員指導者研修」を実施。育成の意義や目標を共有し、自覚的に役割が発揮できるような動機付けを行っている。これにより担当者の自覚が生まれるとともに、育成・指導の全てを担わなければならないといった負担感の払拭にもつながっている。

※OJT担当者とは、新任職員の身近な相談役になるとともに、仕事におけるお手本役になる職員。新任職員と経験や年齢が近い中堅職員から任命されることが多い。

人材育成のヒント

事例からみえるヒント

以上の事例から、福祉職場における人材育成を進めるポイントについて考えてみたい。

① 職員参加で人材育成の仕組みをつくる
事例1のようにプロジェクトチ

② 職場研修の基盤をつくる

基盤づくりとは、法人理念に沿った人材育成方針やキャリアパス体系などを明らかにし、実行のために職場研修を進める権限・役割を担う担当者を選任することである。

また、事例3のように新任職員

③ PDCAサイクルで実践する

PDCAの基になる計画には2種類ある。一つは、人材育成方針に基づく中長期プラン。これには、法人として求める職員像と、階層や職種ごとに必要な資質・能力を明確にし、現状の到達点と課題を明らかにすることが必要になる。もう一つが、単年度の研修計画である。この計画も、研修テーマと

■図表3 職場研修のPDCAサイクル



研修所の職場研修支援の取り組み

社会福祉研修所では、従来からOJT担当者やチームリーダーを対象とした集合研修を開催し、職場での人材育成の必要性や実践方

法の普及に努めてきた。これに加え、平成25年度からは、専任のアドバイザーが直接職場を訪問し、各職場の個別事情に合わせた職場研修への取り組みを支援する「職場研修アドバイザー事業」を実施している。さらに、今回紹介した施設・事業所のほか、独自で工夫を凝らして人材育成に取り組む施設・事業所を取材し、その実践の経験知を「事例から学ぶ職場研修のすすめ方」としてまとめ、冊子を発行した。それぞれの事例から人材育成のヒントを得て、各職場の実情に合わせた職場研修の促進につなげていただきたい。

職場研修アドバイザーのご案内

研修所の専任のアドバイザーが直接職場を訪問し、研修担当者等のパートナーとなって職場研修の実施をサポートします。アドバイザー派遣にかかる費用は全て無料です。派遣を希望される場合は、研修所ホームページをご確認ください。



事例集もホームページよりダウンロードできます!

兵庫県社会福祉研修所
TEL 078-367-3001
E-mail kensyu@hyogo-wel.or.jp



キッコーマン食品株式会社高砂工場では、障害者支援施設、老人福祉施設からの工場見学を受け入れているよ。見学を希望する全ての人を迎えたいという社員の温かい対応で、みんなが楽しみながら学習できる取り組みなんだ。



みんなでつくる ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする取り組みを紹介します。

誰もが見学できる 工場を実現

キッコーマン食品株式会社高砂工場では、

障害者支援施設や老人福祉施設等の利用者の工場見学を積極的に受け入れながら、誰もが安全で楽しく見学ができる工場を目指して取り組みを進めてきた。



誰もが楽しく見学できる工場を目指す

最初に取り組んだのが、社員による車椅子の講習会だ。高砂市社協の指導を受けて、車椅子の操作を学び、見学コースに危険なところがないかなどを確認した。これにより、社員の意識が高まり、「一人でも多くの方に見学に来ていただき、喜んでいただきたい」という積極的な思いも後押しして、車椅子でも見学しやすいように見学コースのガラス窓を低くしたり、エレベーターを設置したりと、見学施設のバリアフリー化につながった。さらに、同工場の食育活動における「しょうゆづくり体験」では、年齢や障害等に応じてさまざまな工夫がなされ、来場者一人一人に合った対応を心掛けている。

工場見学から広がる 共生のまちづくり

～キッコーマン食品株式会社高砂工場による社会貢献活動の取り組み～



多くの方の来場を得て地域のふれあいの場に

さらに、同工場では工場見学に合わせて、近隣の知的障害者の小規模作業所で作られたお菓子の販売も行っており、見学に訪れる方々や社

につなげた。

工場では、高砂市社協が企業ボランティア啓発事業として行った「わくわくドキドキ工場見学」から始まったさまざまな取り組みが、地域とのつながりを深めている。この取り組みでは、子どもたちが障害者の話を一生懸命に聞き、一緒にしょうゆづくり体験や工場見学をすることを通じて、障害への理解を深めることにつなげた。

地域のつながりを育む場

員に、作業所やそこで働く人たちにについての理解を広め、お互いの「コミュニケーション」の機会を提供している。この他にも、高砂市や近隣企業と一緒に、夏休み中に地域の子どもたちを招いたり、トライやるウィークや教職員研修を積極的に受け入れたりと、同工場は多様な人たちが集いながら、楽しい時間を共に過ごす場として定着しつつある。企業と地域住民の垣根を超えた、地域の新たなつながりを育む場として、今後どのような取り組みが生まれていくのかが注目される。

取材を終えて

同工場では普段の業務の中で社会貢献活動が自然に行われています。誰もが地域社会の一員として安心して暮らせるユニバーサル社会づくりは、このようなさまざまな担い手の地道な活動から実現していくのだと感じました。

キッコーマン食品株式会社
高砂工場総務グループ
高砂市荒井町新浜1-1-1
TEL 079-442-2131



「ストップ・ザ・無縁社会」
広がれ！全県キャンペーン
<http://stop-muen.jp>

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの最新情報や、支え合いのメッセージをお伝えします。

メッセージ

社会福祉法人の原点に立ち返って「無縁社会」に立ち向かおう！

兵庫県社会福祉法人経営者協議会（経営協）は、社会福祉施設等の経営主体で構成する県域団体で、その社会的評価を高めながら、社会福祉の発展に寄与することを目的としています。

これまで、社会福祉法人の経営に関する調査研究事業やセミナーなどの開催を通じて、「施設機能の開放」「災害時の要援護者支援」等の社会貢献活動について検討してきました。最近では、社会福祉法人の在り方が問われる中、県内の法人を対象に調査や個別支援を行い、身近な地域での相談窓口の開設、市区町域での連絡協議会の組織化を全県的に進めています。

地域社会では、核家族化や単身世帯の増加などに伴う社会的なつながりの希薄化が叫ばれ、社会的孤立が課題となっています。また、制度の狭間の問題、複合的な問題など一つの窓口・機関だけでは解決できない課題が発生しています。

社会的孤立の問題は、都市部でも農山間地でも、そして子どもから高齢者に至るまで、各層で深刻化して

います。

社会福祉法人には、福祉サービスを利用する方々への支援だけでなく、家族や地域社会へのアプローチや、地域に根付いた福祉拠点になっていくことが期待されています。人口減少や高齢化を悲観するのではなく、時代の変化に対応しつつ、これまで築いてきた知恵や資源を生かして豊かな地域社会づくりの好機にしていけることが大切です。

社会福祉法人が原点に立ち返って、みんなで支え合う仕組みづくりを各地域で進めていくことが、地域の福祉力を高めることにもつながります。「無縁社会」に立ち向かい、乗り越えるための取り組みを、地域の中にも広げていきましょう。



兵庫県社会福祉法人経営者協議会
会長 西村 治さん

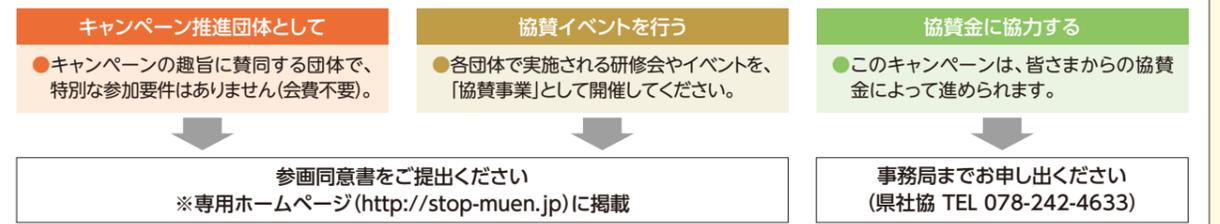
「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンに、あなたも参加してみませんか？

少子高齢化やライフスタイル・意識の変化、長引く不況などから、家族や地域、職場のつながりや支え合いが薄れているといわれています。このような社会状況は、「無縁社会」と呼ばれています。

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンは、県内の福祉・経済・労働など分野の異なる18団体を幹事団

体として、「無縁社会」への警鐘を鳴らし、県民の皆さんと共に課題を共有して一歩を踏み出すための取り組みです。推進協議会が中心となり、212団体（5月31日現在）の推進団体と共に、情報発信や地域フォーラムなどの事業を展開しています。あなたにできることから、一歩を踏み出してみましょう！

キャンペーンに参加する3つの方法



広げよう！地域の安心拠点

小地域に根付いた地域の拠点づくりの取り組みをシリーズで紹介します。

防災活動を通して みんなで進めるまちづくり ～宝塚市長尾地区の取り組み～

地域の概況

市東部に位置し、日本三大植木産地の一つとして歴史的に有名な山本地区を含む。高齢者数は増えているものの、平成7年頃から多くの田畑がマンションや宅地になり、子育て世帯が大幅に増加した。児童数約1,200人の小学校もある。各小学校区では、従来から誰もが参加できるふれあいサロンや食事会、親子ひろば、見守りなどの住民の支え合い活動が盛んで、拠点整備を契機として、住民と専門職の連携・協働による新たな取り組みへの機運が高まっている。

住民と専門職の 協議・協働を促進

「世代を超えたつながりが必要」「災害時も支援を要する人のサポートを考えたい」「自治会未加入者にも情報を届けたい」。

長尾地区のまちづくり協議会と民生委員児童委員協議会、自治会連合会では、多年にわたる高齢者・障害者・子育て世帯との関わりと、阪神・淡路大震災や水害の被災体験をもとに、上記のような地区の課題について熱心に話し合いを重ね、協力しながら解決に向けて取り組んできた。各組織の代表者は、「活動者・物品・資金・情報がつながることで地区全体が良くなることを実感した」と口をそろえる。

平成24年2月には、県事業の受託をきっかけに、地区全体のことを考える組織として新たに長尾安心地区推進協議会を設立。住民の声をもとに地区内3拠点の備品整備とバリアフリー改修を行った。このうち「長尾ふれあいひろば」では、構成員の地域組織と市社協、福祉施設、地域包括支援センター等が定期的に会議を開催。住民と専門職の連携・協働の基盤が整えられた。



子どもの防災意識を高める～浸水を防ぐ土のう作り～

今回取材した拠点のご紹介

長尾ふれあいひろば 宝塚市山本南2-10-2 TEL 0797-20-0791(火、木曜日13:00～16:00)



基礎データ

(平成27年3月31日現在)

人口: 42,051人 高齢化率: 17.7%
世帯数: 16,705世帯
学校: 中学校2校、小学校3校



つながりを大切にした 防災計画づくり

長尾地区では、これまでも高齢者や親子向けの防災教室を開催するなど災害時の備えを呼び掛けてきたが、同ひろばで防災・減災について学習・協議を進める中で、地区全体をカバーする計画が必要と考え、新たに「地区防災計画」の策定を予定している。

策定に向けて、地区全体の防災教室と防災セミナーによる体験的学習・啓発のほか、住民と共に災害時に活用できる資源の調査も行い、なじみの関係を大切にしながら住民と専門職による防災活動の強化を図っていくこととしている。

安心地区推進協議会の座長・副座長は、「防災活動は“まちづくり”につながる大切な取り組み」と力を込めて話してくれた。

これらの取り組みの他にも、住民の参加と交流の機会として「地域つながるコンサート」を企画するなど、同地区の活動はさらに広がりをみせており、拠点から生み出される新たな活動にも期待が寄せられる。

あなたのまちの社協ナビ

市町社協の取り組んでいるさまざまな活動を紹介します。

活動を
もっと詳しく
知りたい方は

神河町社会福祉協議会
TEL 0790-32-2303

神河町社協

検索



“お互いさま”で 支え合う地域づくりを目指して

神河町では、交通事情に対する住民の不安や、高齢者の単身化による孤立感への対応が大きな課題になっている。このたび「第2次地域福祉推進計画」を策定した町社協では、これらを「みんなの問題」として、新たな支え合いの仕組みづくりを進めようと、「全ての人が孤立しないまちづくり」や「お互いさまと言えぬ地域づくり」を主な柱に掲げて活動を進めている。

住民の生活ニーズに応える

月1回、町の中心部のスーパーには、たくさんの買い物袋を提げた高齢者らの姿がある。社協の「お買い物送迎サービス」の日だ。住民の主な交通手段は自家用車や町が運行する巡回バスだが、車椅子を使う方が通院したいときや、一人暮らしの高齢者がたくさんの買い物をしたいときは、これらの手段では外出が難しい。このため社協では、住民からの要望を受け、高齢者等を対象に、病院や店舗への送迎事業を“ドア・ツー・ドア”のスタイルで行っている。さらに、高齢化や単身化を背景に、外出支援に限らず、「ゴミ出しや買い物等を手伝ってほしい」というニーズも高まっている。

これらのニーズを受けて、今後は地域の助け合いに関心の高い定年後の男性等を新たな担い手として育成を図るとともに、近隣同士のちょっとした手伝いや見守りをどう

「お買い物送迎サービス」を利用する住民。現在、3つの集落でモデル実施中



広げるかについて、住民との話し合いを進めつつ、「お互いさま」で助け合う地域づくりを目指している。

全集落での見守り活動を目指して

今回の計画策定時に行った住民アンケートでは、「支援が必要になったとき、近所の人にしてほしい手助けは？」という質問に、「声掛け・見守り」と答えた人が7割に上った。これまでも社協では、近隣同士のつながりづくりや見守りのために、ボランティアや老人クラブと共に、集落ごとのミニデイ・サロンの普及や一人暮らし高齢者等への給食サービスの実施に力を入れてきた。

しかし最近では、見守りニーズが増加する一方で、足腰が弱ってサロンに参加できない人が増えるとともに、給食サービスもボランティアが減少しており、住民から新たな見守りの仕組みづくりを求める声が挙げられている。

今後、社協では計画の重点事業として、地域包括支援センターとの連携により各集落の区長や民生委員・児童委員、老人クラブ、ボランティア等と協議を重ね、モデル地区を指定したり、さまざまな見守りの方法を示したりしながら、全集落で実情に応じた見守り活動の実施を進めていく予定だ。計画策定をきっかけとして、支え合いの地域づくりが一層推進することが期待される。

ある集落でのミニデイ。ほぼ全集落でミニデイが開催されている



取材を終えて

「住民アンケートでは、住民同士でできることを模索している人がたくさんいることが分かった。住民と社協がそれぞれの強みを生かして、みんなで地域の課題を乗り越えたい」と語る社協職員。住民と共に生活課題へ立ち向かおうという強い使命感を感じました。

会長から 神河町社会福祉協議会 会長 中野 正義

私たちの住む神河町は、25年先には人口が今の7割以下に減少し、高齢化率は40%を超え、町そのものが消滅してしまう可能性があるともみられています。今大切なことは、私たちが置かれている現状をしっかりと認識し、支え合いや助け合いの精神を育みながら、一人一人が幸せを実感できる地域社会を目指していくことではないでしょうか。私たちが持っているやさしい心、そして思いやりの心の一つ一つ織り重ね合いながら、生きがいに満ちた魅力あふれる地域となっていくことを願っています。



ネパール地震災害義援金募集!

阪神・淡路大震災の被災地からネパールの地震災害の被災者に温かい支援を!

4月25日にネパールで発生した地震により、同国に甚大な被害が発生しています。

兵庫県社協では、兵庫県、地方4団体、民間団体による「平成27年ネパール地震兵庫県義援金募集委員会」に参画し、被災者支援のための義援金の募集を行っています。

阪神・淡路大震災を経験した被災地として、県民の皆さまの温かい支援をお願いいたします。

募集期間 平成27年8月31日(月)まで

募集方法 下記口座への振り込みか、県の地方機関、市町庁舎等に設置された募金箱へ

郵便振替口座:00910-1-274983

名義:平成27年ネパール地震兵庫県義援金募集委員会

※上記口座のほか、三井住友銀行、みなと銀行、但馬銀行、JAバンク兵庫にも口座が開設されています。詳細は兵庫県のホームページをご参照ください。

兵庫県企画県民部防災企画局防災企画課
TEL 078-341-7711 (内線5352・5386)

平成27年度兵庫県介護支援専門員実務研修受講試験のお知らせ

試験日 平成27年10月11日(日)午前10時開始

会場(予定) 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス他(神戸市内)

申込書(第18回受験の手引)の配布

配布期間・申込受付期間

平成27年6月2日(火)～6月30日(火)

配布場所

県内各市区町の介護保険担当窓口、神戸県民センター県民交流室県民課、各県民局(阪神南、中播磨は県民センター)健康福祉事務所、但馬県民局但馬長寿の郷、兵庫県介護保険課、兵庫県社会福祉研修所

受付方法 兵庫県社会福祉研修所宛て簡易書留による郵送受付(持参による申し込みは不可)

受験料 7,700円

平成28年度以降、合格者に対する実務研修の内容が大幅に変わります!

兵庫県社会福祉研修所 介護支援専門員試験・研修係
TEL 078-367-5211

社会福祉法人の原点に立ち返って、経営協総会・記念講演会を開催!

5月12日、兵庫県社会福祉法人経営者協議会(経営協)の第35回総会・記念講演会が、神戸市中央区のザ・マークススクエア神戸において開催された。

開会式では、経営協の婦木治会長のあいさつの後、来賓を代表して井戸敏三兵庫県知事から、社会福祉法人の在り方が問われる中、災害時の福祉避難所等への対応など、社会福祉法人の原点に立ち返った地域公益活動の一層の推進を期待したい旨、激励の祝辞をいただいた。

総会では、平成26年度事業報告・決算および平成27年度事業計画・予算が原案どおり承認され、役員改選により婦木会長が再任された。また、介護保険制度等への対応や全国・近畿経営協との連携強化への対応として、副会長が従来の3人から4人の体制に強化された。

総会終了後は、調査研究事業「地域福祉推進会議」の中間報告が行われたが、社会福祉法人の地域公

益活動の推進については、平成27年度も、市区町域における社会福祉法人連絡協議会の立ち上げを全国的に推進していくことが確認された。

続いて、「『ええもん』をつくり人を幸せにする」播州かりんとうの経営戦略」と題して、姫路市にある常盤堂製菓株式会社代表取締役社長 天野 治氏を講師に招いた記念講演が行われた。時代の変化に対応し、「お客様第一主義」で、常に革新を続ける経営が伝統を守ることにつながるなど、自社の理念、社是等を交えて、分かりやすく講演いただき、参加者の共感を得ていた。



制度改革の渦中で社会福祉法人の一層の活動強化を目指す

みんなの広場

兵庫県社協の会員からの情報発信コーナーです

社会福祉施設種別協議会に関連して、平成27年度に下記の近畿・全国大会が開催されます。内容の詳細は、各協議会等までお問い合わせください。

近畿児童養護施設研究協議会

日時 平成27年6月9日(火)～10日(水)

会場 ホテルクラウンパレス神戸(神戸市中央区)

参加費 一人12,000円

内容 記念講演「児童養護施設実践の新たな視座～ソーシャルペダゴギーを理解する～」(甲南大学教授 森 茂起氏)、分科会など

① 名鉄観光サービス株式会社神戸支店
TEL 078-321-5005

② 一般社団法人兵庫県児童養護連絡協議会
TEL 078-855-5915

近畿救護施設研究協議会

日時 平成27年6月18日(木)～19日(金)

会場 舞子ビラ神戸(神戸市垂水区)

参加費 一人8,000円

内容 記念講演「絆を求めて・家族と地域」(ラジオパーソナリティ 谷 五郎氏)、分科会など

① 名鉄観光サービス株式会社神戸支店
TEL 078-321-5005

② 近畿救護施設研究協議会事務局(救護施設南光園)
TEL 0790-77-0236

近畿老人福祉施設研究協議会 兵庫・神戸大会 ～認知症ケアサミット IN KOBE～

日時 平成27年7月16日(木)～17日(金)

会場 神戸ポートピアホテル(神戸市中央区)

参加費 一人10,000円

内容 講演①「野球界におけるリーダー論～野村・長嶋・星野に学ぶ～」(スポーツコメンテーター 広澤 克実氏)、講演②「高齢者を知る～認知障害を持つ人の幸せについて 幾つかの道を考える～」(至誠ホーム ホーム長 橋本 正明氏)、研究分科会など

③ 有限会社サーヴィライントラベル
TEL 06-6398-6116

④ 一般社団法人神戸市老人福祉施設連盟
TEL 078-351-6402

E-mail jimukyoku@kobe-roushiren.jp

きょうされん第38回全国大会inひょうご

日時 平成27年10月9日(金)～10日(土)

会場 神戸国際展示場(神戸市中央区)

⑤ きょうされん兵庫支部事務局 TEL 078-582-4016

URL <http://ameblo.jp/hyogosibu/>

平成27年度第1回福祉の就職フェアのお知らせ

日時 平成27年7月25日(土) 13:00～17:00

会場 神戸国際展示場3号館(神戸市中央区港島中町6-11-1)

対象 学生・一般求職者(事前申し込み不要)

※共催イベントとして、福祉の就職ガイダンス(11:00～12:00、事前申込制)を開催いたします。

※平成27年度に開催するその他のフェア・説明会の日程は以下の通りです。

名称	開催日	会場
但馬・丹波・淡路地域対象福祉の就職説明会	10月16日(金)	神戸サンボーホール
	尼崎会場 10月28日(水)	尼崎市総合文化センター
福祉の就職説明会 AUTUMN in HYOGO	姫路会場 11月10日(火)	姫路商工会議所
	神戸会場 11月26日(木)	神戸サンボーホール
第2回福祉の就職総合フェアin HYOGO	3月8日(火)	神戸サンボーホール

⑥ 兵庫県福祉人材センター TEL 078-271-3881

老人福祉事業就職フェアのご案内

日時 平成27年7月4日(土)

13:00～17:00

会場 姫路商工会議所

⑦ 兵庫県老人福祉事業協会

TEL 078-291-6822

URL <http://www.hyogo-kenroukyo.jp/>

民間保育所就職フェアのご案内

日時 平成27年7月5日(日)

13:30～16:00

会場 神戸ポートピアホテル

⑧ 兵庫県保育協会保育士・保育所支援センター

TEL 078-242-4637

URL <http://www.hyogo-hoikukyokai.or.jp/>

福祉の就職フェア等のご案内

兵庫県福祉人材センターでは、福祉関係事業所と求職者の面談の場を設けること、福祉の仕事への

理解を促す機会を設けることを目的として、左記の通り福祉の就職総合フェア並びに就職説明会を開催する。詳細は本会ホームページ(<http://www.hyogo-wel.or.jp/>)にて随時掲載する予定である。

アピールしたい活動の
情報をお寄せください。

問い合わせ

兵庫県社協 総務企画部 TEL 078-242-4633 FAX 078-242-4153 E-mail info@hyogo-wel.or.jp

助成金情報

福祉活動等に対する助成金の情報です。詳細は、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

社会福祉法人清水基金
平成27年度一般助成事業

対象 障害児・者福祉の増進を目的として運営している民間社会福祉法人の諸事業
 助成額 原則1件50万円以上700万円以内(総額2億4,000万円を予定。助成件数60~70件程度)
 ※原則申し込み法人が事業費の30%以上を負担
 締切り 平成27年6月30日(火) 必着
 〇〇社会福祉法人清水基金
 TEL 03-3273-3503
 URL http://www1a.biglobe.ne.jp/s-kinin/

公益財団法人みずほ福祉助成財団
平成27年度社会福祉助成金

障害児・者の福祉向上を目的とする先駆的・開拓的な事業や研究に助成します。
 対象 社会福祉法人、特定非営利活動法人等の非営利法人および任意団体、小規模作業所等または研究グループ(5人以上で構成)
 助成額 事業助成:1件15万円以上120万円以内、研究助成:120万円以内(総額3,000万円)
 締切り 平成27年6月30日(火) 消印有効
 〇〇公益財団法人みずほ福祉助成財団
 TEL 03-3596-5633
 URL http://homepage3.nifty.com/mizuhofukushi/

公益財団法人太陽生命厚生財団
平成27年度事業助成

ボランティアグループ等が在宅高齢者または在宅障害者等のために、福祉活動や文化活動を行うために必要な費用または機器、機材、備品等を整備するための費用に対し、助成します。
 対象 地域福祉活動を目的とするボランティアグループおよびNPO(法人格の有無は不問)
 ※在宅高齢者等への地域公益事業・生活支援事業を行う社会福祉法人を含む
 助成額 1件10万円以上50万円以内(総額2,000万円)
 締切り 平成27年6月30日(火) 必着
 〇〇公益財団法人太陽生命厚生財団
 TEL 03-6674-1217
 URL http://www.taiyolife-zaidan.or.jp/

2015年度大阪帝塚山ロータリークラブ
社会奉仕基金助成金

対象 県内で社会奉仕活動を行い、本助成を平成24年6月以降に受けたことのない団体
 助成額 1件上限40万円(合計3団体)

締切り 平成27年6月30日(火)(期間延長)
 〇〇大阪帝塚山ロータリークラブ
 ※問い合わせはメールのみで受付
 (osaka.tezukayama.r.c@gmail.com)
 URL http://osaka-tezukayama-rc.cocolog-nifty.com/

一般財団法人松翁会
平成27年度社会福祉助成金

社会福祉に関する民間の事業に助成します。
 対象 原則法人・団体であり、次の基準を満たすこと①障害者の福祉向上案件、および難病案件、虐待防止案件であること②明確な企画(目的、内容、資金使途等)に基づく事業で具体的な計画を持つこと③推進体制が確立しており、自己資金の調達を努力をしていることなど
 助成額 1件10万円以上60万円以内(総額700万円以内)
 締切り 平成27年7月31日(金) 必着
 〇〇一般財団法人松翁会
 TEL 03-3201-3225
 URL http://shouhoukai.or.jp/zaidanhojin_shouhoukai/

募集

第13回高校生福祉文化賞
エッセイコンテスト

「わたしと福祉」をテーマにした高校生のエッセイを募集します。
 応募資格 高校生
 募集分野 ①人・家族とのふれあい②わたしが暮らすまち③日常のなかでつながる世界④社会のなかの「どうして?」
 作品規定 上記の4つの分野から1つを選び、題名を付け、800字以内のエッセイにまとめる
 賞 最優秀賞(各分野から1点ずつ):賞状・副賞(奨学金10万円)・記念品、優秀賞(各分野から2点ずつ):賞状・副賞(奨学金5万円)・記念品、審査員特別賞(各分野から1点ずつ):賞状・副賞(奨学金3万円)・記念品、学校賞(優れた作品を多く寄せていただいた高等学校)
 締切り 平成27年7月31日(金) 消印有効
 〇〇日本福祉大学
 TEL 052-242-3045
 URL http://www.n-fukushi.ac.jp/50th/essay/boshu15/

研修・イベント

障がい者の働く場パワーアップフォーラム
(大阪会場)
 日時 平成27年7月17日(金)10:00~17:00

会場 大阪国際会議場
 参加費 無料
 定員 200人
 〇〇公益財団法人ヤマト福祉財団
 TEL 03-3248-0691
 URL http://www.yamato-fukushi.jp/

行事予定

- 6月 3日 若年性認知症家族介護者連絡会 ◆県福祉センター
- 4日 社協ワーカー実践研究会議(全6回) ◆県福祉センター
福祉行政機関新任職員研修 ◆県社会福祉研修所
- 9~10日 近畿児童養護施設研究協議会 ◆ホテルクラウンパレス神戸
- 17日 第1回県内社協事務局長会議 ◆県福祉センター
- 18~19日 近畿救護施設研究協議会 ◆舞子ピラ
- 19日 福祉人材確保・定着力向上研修 ◆県福祉センター
- 22日 ホームヘルプ事業者協議会総会 ◆県福祉センター
- 7月 1~10日 社会福祉援助基礎研修 Aコース(全2コース) ◆県社会福祉研修所
- 2日~13日 コミュニティワーク基礎研修 ◆県社会福祉研修所
- 14日~ 介護支援専門員更新研修B・再研修 ◆県社会福祉研修所他
- 15日 会計実務担当者研修 基礎編 ◆県社会福祉研修所
- 16~17日 近畿老人福祉施設研究協議会 ◆ポートピアホテル
相談面接技術研修 初級Aコース(全2コース) ◆県社会福祉研修所
- 22日~8月5日 相談面接技術研修 中級Aコース(全3コース) ◆関西学院大学
- 24日 経営協理会・例会 ◆県福祉センター
- 25日 第1回福祉の就職総合フェア in HYOGO ◆神戸国際展示場3号館
- 27日~ 保育リーダーゼミナール(全4回) ◆県社会福祉研修所
- 29日 前頭側頭型認知症の家族交流会 ◆県福祉センター
- 30日 新任職員OJT担当者研修 基礎編 ◆県中央労働センター

兵庫県が提供する「住まい再建のしくみ」
~兵庫県住宅再建共済制度~

フェニックス共済

小さな掛金で大きな安心!

フェニックスサポーター
はばタン



区分	年額負担金	被害認定	最高給付金
住宅再建共済	5,000円	半壊以上	600万円
一部損壊特約	500円	一部損壊(損害割合10%以上)	25万円
家財再建共済	1,500円	半壊以上又は床上浸水	50万円

(公財)兵庫県住宅再建共済基金 神戸市中央区下山手通5-10-1
 TEL 078-362-9400(専用電話 平日9:00~17:00)

フェニックス共済 検索

現状の制作物を一新したい
 新しい情報を伝えたい
 そんなとき、ご相談ください。



Advertising, Editorial & Web Design

カタログ、パンフレット、情報誌、ロゴ、広告などの
企画・制作

神戸市中央区海岸通8番 神港ビルディング5F
 TEL 078-331-5255 FAX 078-331-7800
 http://www.idee-kobe.co.jp

株式会社 イディー

イディー 神戸 検索